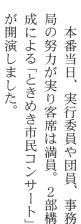
いよいよ本番



月」など5曲が演奏されました。 的な音色で、「涙そうそう」「荒城の ンガーによるハンドベル演奏。幻想 オープニングは、フロールベルリ

響き渡りました。 よ人の望みよ喜びよ」「木星」など、 な弦楽4重奏を披露。続いて、「主 よるマリンバ3重奏の音色が会場に 加藤詢子マリンバ・アンサンブルに ク全楽章」「もののけ姫」など、華麗 弦楽団所属の4人がモーツァルトの ゙アイネ・クライネ・ナハト・ムジー 続いて、仙台フィルハーモニー管

いう声援と拍手が送られました。 の登場。客席からは「頑張れ!」と そしていよいよ、とめ市民合唱団











歓喜の拍手

りました。 さに包まれ、会場全体に緊張感が走 と、息遣いが聞こえるくらいの静け ステージ上に団員が勢ぞろいする

席から割れんばかりの拍手。そして 「君をのせて」「大地讃頌」「ふるさと」 人が「水の里」を歌い上げると、客 高橋さん指揮のもと、総勢110

> 声に、団員の顔には笑顔が浮かんで わった達成感と安堵感に加え、予想ました。そして、4曲すべて歌い終 声に、観客から拍手と熱い声援が飛 いました。 び交い、団員は充実感に包まれてい をしていなかった「アンコール」の を続けて熱唱しました。 歌い終わると、その素晴らしい歌

里」の大合唱。この日一番の感動に 00人の観客が一体となった「水の 包まれた瞬間でした。 アンコールは、団員110人と5

市民が「ひとつ」に

といえます。 にしたからこそ「ひとつ」になれた が集まり、目標に向かって苦労を共 コンサートは大成功に終わりまし 純粋に歌うことが好きな人たち

できるはずです。わたしたち一人ひ る一員ですから。 とりが登米市のハーモニーを響かせ 素晴らしいまちづくりがきっと実現 力を合わせて「ひとつ」になれば、 ち市民も市全体の将来を見据えて、 た登米市にも重なります。わたした この姿は9つの町がひとつになっ



■大きな発表会は今回が初めて



佐々木静子さん・3歳

(豊里町・長根区)

■小さいころから音楽が大好き

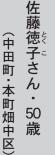
いさいころから歌を歌ったり楽器を演奏するのが大好きで、学校では音楽の授業が一番得意です。学校の関係で練番得意です。学校の関係で練る者はうまく歌えるかなとすで、不安になりましたが、成でく不安になりましたが、成ってうれしかったです。 これからもずっと合唱団をこれからもずっと合唱団を



(迫町・光ヶ丘西区) 及川和之君・14歳

■アンコールをいただいて感動

とにかく歌うことが好きなので、練習日が来るのを楽しので、練習日が来るのを楽しないます。
アンコールをいただいたとアンコールをいただいたとでは、とてもうれしくて感動きは、とてもうれしくで感動しました。これからも大好きな歌を楽しく歌い続けていきない。









①仙台フィルハーモニー管弦楽団所属の4人による華麗な弦楽4重奏②加藤詢子マリンバ・アンサンブルがマリンバ3重奏を披露③アンコールに応え観客とともに歌ったとめ市民合唱団④幻想的な音色のハンドベル演奏(フロールベルリンガー)⑤⑥メンバーの多くが市内の主婦で構成しているフロールベルリンガーの練習風景⑦⑧⑨⑩熱のこもった練習を重ねて本番に挑んだとめ市民合唱団⑪幅広い年代が合唱を通じてひとつになりました

